

1978年 大会記録

国際

◇ワールドカップ=フリースタイル (4月1～2日、米国・トレド)

3位 (1勝1敗1分け)

1回戦 日本● [1-9] ○米国

2回戦 日本○ [2-8] ●ソ連

3回戦 日本△ [5-5] △キューバ

《個人成績》▼48kg級 石川利明 (日大) = 4位、▼52kg級 荻場勇光 (自衛隊) = 2位、▼57kg級 富山英明 (日大) = 優勝、▼62kg級 多賀恒雄 (明大) = 3位、▼68kg級 中村伸 (国士舘大) = 4位、▼74kg級 川田勝也 (日大) = 4位、▼82kg級 太田章 (早大) = 3位、▼90kg級 鈴木光 (日大) = 3位、▼100kg級 山本博 (日大) = 4位、▼100kg以上級 大湊康訓 (中大) = 4位

◇全米選手権=フリースタイル ()

《個人成績》▼48kg級 石川利明 (日大)、▼52kg級 荻場勇光 (自衛隊) = 4位、▼57kg級 富山英明 (日大) = 優勝、▼62kg級 多賀恒雄 (明大) = 2位、▼68kg級 中村伸 (国士舘大) = 5位、▼74kg級 川田勝也 (日大)、▼82kg級 太田章 (早大)、▼90kg級 鈴木光 (日大)、▼100kg級 山本博 (日大)、▼100kg以上級 大湊康訓 (中大)

◇世界選手権 (8月20～27日、メキシコ・メキシコシティ)

《フリースタイル》▼48kg級 藤沢信雄 (大東大職) = 2位、▼52kg級 高田裕司 (日体大研) = 5位、▼57kg級 富山英明 (日大) = 優勝、▼62kg級 山崎徳夫 (和歌山・城東中教) = 三失、▼68kg級 宮原章 (秋田県協会) = 2位、▼74kg級 川田勝也 (日大) = 二失、▼82kg級 太田章 (早大) = 三失、▼90kg級 鈴木光 (日大) = 二失、▼100kg級 山本博 (日大) = 二失、▼100kg以上級 谷津嘉章 (日大) = 二失

《グレコローマン》▼48kg級 森脇由晃 (和歌山教委) = 二失、▼52kg級 円大海 (自衛隊) = 二失、▼57kg級 阿佐雄二 (自衛隊) = 5位、▼62kg級 田上高 (鹿児島・伊佐農林高教) = 三失、▼68kg級 南敏文 (日体大) = 二失、▼74kg級 野口次夫 (自衛隊) = 三失、▼82kg級 伊沢厚 (警視庁) = 二失、▼90kg級 藤田芳弘 (和歌山・和歌山北高教) = 三失、▼100kg級 藤森安一 (警視庁) = 二失、▼100kg以上級 松永清志 (和歌山武道館) = 二失

◇アジア大会（12月11～14日、タイ・バンコク）

《フリースタイル》▼48kg級 入江隆（自衛隊）＝優勝、▼52kg級 高田裕司（日体大研）＝優勝、▼57kg級 富山英明（日大）＝優勝、▼62kg級 山崎徳夫（和歌山・城東中教）＝2位、▼68kg級 宮原章（秋田県協会）＝2位、▼74kg級 川田勝也（日大）＝2位、▼82kg級 茂木優（秋田・秋田商高教）＝優勝、▼90kg級 清水一夫（岡山・岡山日大高教）＝4位、▼100kg級 山本博（日大）＝優勝、▼100kg以上級 谷津嘉章（日大）＝優勝

※フリースタイルのみ

国内

◇全国高校選抜大会（4月1～2日、新潟・新潟市体育館）

《学校対抗戦》[1] 鹿児島・鹿児島商工、[2] 青森・光星学院、[3] 長野・小諸、宮城・東北工大電子工

《個人戦優勝者》▼48kg級 斉藤育造（三重・松阪工）、▼52kg級 高越淳（富山・高岡商）、▼56kg級 五位塚悟（鹿児島・鹿児島商工）、▼60kg級 山口道雄（鹿児島・鹿児島商工）、▼65kg級 栄和人（鹿児島・鹿児島商工）、▼70kg級 上村政和（鹿児島・鹿児島商工）、▼75kg級 吉田洋一（青森・光星学院）、▼75kg以上級 宮内輝和（栃木・足利工大付）

◇全日本社会人選手権（5月4～5日、東京・青少年スポーツセンター）

《団体戦・官公庁対抗優勝》自衛隊A、《同・実業団対抗優勝》小玉合名、《同・クラブ対抗優勝》八戸クラブ、《同・三部対抗優勝》自衛隊A

《フリースタイル優勝者》▼48kg級 入江隆（自衛隊）、▼52kg級 大池毅（小諸ク）、▼57kg級 山路明（和歌山ク）、▼62kg級 山崎徳夫（和歌山ク）、▼68kg級 西村盛正（宮崎ク）、▼74kg級 小柳美代志（栃木県教委）、▼82kg級 久木原俊満（自衛隊）、▼90kg級 伊藤勝春（丸藤シートパイル）、▼100kg級 松井保憲（皇宮警察）、▼100kg以上級 森康哲（自衛隊）

《グレコローマン優勝者》▼48kg級 純浦文夫（アイシン精機）、▼52kg級 宇野勝彦（三重・桑名工高教）、▼57kg級 円大海（自衛隊）、▼62kg級 上妻貞雄（自衛隊）、▼68kg級 西村盛正（宮崎ク）、▼74kg級 野口次男（自衛隊）、▼82kg級 伊沢厚（警視庁）、▼90kg級＝参加なし、▼100kg級 吉田幸雄（八戸ク）、▼100kg以上級 松永清

志（和歌山県武道館）

◇西日本学生春季新人戦（5月5日、大阪・桃山学院大）

《フリースタイル優勝者》▼48kg級 高桑美夫（大体大）、▼52kg級 平井治司（京都産業大）、▼57kg級 藤崎昌則（近大）、▼62kg級 杉浦雅之（近大）、▼68kg級 原田久也（近大）、▼74kg級 山元一彦（近大）、▼82kg級 横山博行（関大）、▼82kg以上級 木村満彦（同志社大）

※フリースタイルのみ

◇東日本学生リーグ戦（5月7～9・30日、東京・青少年総合センター、駒沢体育館）

《順位》[1] 日大（2年連続4度目）、[2] 日体大

（A組順位）[1] 日大、[2] 東洋大、[3] 国士大、[4] 明大、[5] 東海大、[6] 法大

（B組順位）[1] 日体大、[2] 中大、[3] 専大、[4] 大東大、[5] 早大、[6] 八戸工大

◇西日本学生選手権（5月26～28日、大阪・大阪府立体育館別館）

《フリースタイル優勝者》▼48kg級 滝口善行（近大）、▼52kg級 上田和弘（中京大）、▼57kg級 守田武史（徳山大）、▼62kg級 吉武行寛（福岡大）、▼68kg級 永田満寿（福岡大）、▼74kg級 新谷武司（徳山大）、▼82kg級 宮本明宏（徳山大）、▼82kg以上級 石河孝広（福岡大）

《グレコローマン優勝者》▼48kg級 徳永俊太（同志社大）、▼52kg級 柴田健二（神戸大）、▼57kg級 岡井正憲（近大）、▼62kg級 前田喜代範（同志社大）、▼68kg級 中谷安典（同志社大）、▼74kg級 新谷武司（徳山大）、▼82kg級 宮本明宏（徳山大）、▼82kg以上級 藤村哲文（徳山大）

◇東日本学生春季新人戦（6月15～18日、東京・青少年総合センター）

《フリースタイル優勝者》▼48kg級 佐々木文和（日体大）、▼52kg級 河村稿一郎（専大）、▼57kg級 横山勝正（専大）、▼62kg級 菊地英利（明大）、▼68kg級 菊地隆（大東大）、▼74kg級 保坂竹道（国士館大）、▼82kg級 茅原功（専大）、▼90kg級 相沢伸彦（国士館大）、▼90kg級以上 山本邦寿（日体大）

《グレコローマン優勝者》▼48kg級 佐々木文和（日体大）、▼52kg級 斉藤英雄（国士館大）、▼57kg級 横山勝正（専大）、▼62kg級 佐藤幸次（拓大）、▼68kg級 菊地隆（大東大）、▼74kg級 保坂竹道（国士館大）、▼82kg級 茅原功（専大）、▼90kg級

相沢伸彦（国士舘大）、▼90kg 級以上 山本邦寿（日体大）

◇西日本学生春季リーグ戦（6月23～25日、大阪・大阪府立体育会館別館）

《順位》[1] 福岡大（4季ぶり6度目）、[2] 徳山大、[3] 同志社大、[4] 近大、[5] 大体大、[6] 中京大

◇全日本選手権（7月7～9日、東京・東京体育館）

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 藤沢信雄（大東大職）、▼52kg 級 高田裕司（日体大研）、▼57kg 級 富山英明（日大）、▼62kg 級 山崎徳夫（和歌山・城東中教）、▼68kg 級 宮原章（松永製あん）、▼74kg 級 川田勝也（日大）、▼82kg 級 茂木優（秋田・秋田商高教）、▼90kg 級 清水一夫（岡山・岡山日大高教）、▼100kg 級 山本博（日大）、▼100kg 以上級 谷津嘉章（日大）

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 森脇由晃（和歌山県教委）、▼52kg 級 円大海（自衛隊）、▼57kg 級 阿佐雄二（自衛隊）、▼62kg 級 田上高（鹿児島・伊佐農林高教）、▼68kg 級 南敏文（日体大）、▼74kg 級 野口次男（自衛隊）、▼82kg 級 伊沢厚（警視庁）、▼90kg 級 藤田芳弘（和歌山・和歌山北高教）、▼100kg 級 藤森安一（警視庁）、▼100kg 以上級 松永清志（和歌山武道館）

◇インターハイ（8月2～5日、福島・田島中）

《学校対抗戦》[1] 鹿児島・鹿児島商工、[2] 青森・光星学院、[3] 愛知・名商大付、茨城・土浦日大

《個人戦優勝者》▼48kg 級 井上智明（福岡・築上西）、▼52kg 級 新井山広志（青森・八戸工大一）、▼56kg 級 五位塚悟（鹿児島・鹿児島商工）、▼60kg 級 栄和人（鹿児島・鹿児島商工）、▼65kg 級 上村政和（鹿児島・鹿児島商工）、▼70kg 級 山本正典（福岡・築上西）、▼75kg 級 吉田洋一（青森・光星学院）、▼75kg 以上級 宮内輝和（栃木・足利工大付）

◇全日本学生選手権（8月29日～9月1日、東京・駒沢体育館）

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 石川利明（日大）、▼52kg 級 朝倉利夫（国士舘大）、▼57kg 級 佐藤和夫（中大）、▼62kg 級 藤田良穂（中大）、▼68kg 級 高橋恒弘（専大）、▼74kg 級 山田真一（国士舘大）、▼82kg 級 木村年貴（日体大）、▼90kg 級 石引正治（東洋大）、▼90kg 級以上 大湊康訓（中大）

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 工藤武之（東農大）、▼52kg 級 朝倉利夫（国士舘大）

館大)、▼57kg級 三沢泰雄(日体大)、▼62kg級 五十嵐直(日体大)、▼68kg級 木許勝弘(日体大)、▼74kg級 保坂竹道(国士舘大)、▼82kg級 浜田善(国士舘大)、▼90kg級 篠原正夫(大東大)、▼90kg級以上 細川和宜(日大)

◇西日本学生秋季新人戦(9月9~10日、大阪・桃山学院大)

《フリースタイル優勝者》▼48kg級 津田博嗣(同志社大)、▼52kg級 亀田雅彦(関大)、▼57kg級 早瀬松三郎(近大)、▼62kg級 山下孝明(近大)、▼68kg級 重松信一(大体大)、▼74kg級 原田久也(近大)、▼82kg級 大村桂(近大)、▼82kg級以上級 横山博行(関大)

《グレコローマン優勝者》▼48kg級 中谷京宗(広島修道大)、▼52kg級 岡田利弘(近大)、▼57kg級 藤崎昌則(近大)、▼62kg級 杉浦雅之(近大)、▼68kg級 重松信一(大体大)、▼74kg級 宇田行利(大体大)、▼82kg級 大村桂(近大)、▼82kg級以上級 横山博行(関大)

◇全日本学生王座決定戦(10月7~8日、東京・青少年総合センター) =決勝成績

日体大○ [5-4] ●日大

※日体大は2年ぶり2度目の優勝

◇国体(10月16~19、長野・小諸市総合体育館)

《成年フリースタイル優勝者》▼48kg級 入江隆(茨城・自衛隊)、▼52kg級 清水清人(鹿児島・日体大)、▼57kg級 富山英明(茨城・日大)、▼62kg級 多賀恒雄(新潟・国士舘大)、▼68kg級 宮原章(秋田・松永製あん)、▼74kg級 小柳美代志(栃木・宇都宮農高教)、▼82kg級 茂木優(秋田・秋田商高教)、▼90kg級 太田章(秋田・早大)、▼100kg級 清水一夫(岡山・岡山日大高教)、▼100kg級以上級 谷津嘉章(栃木・日大)

《成年グレコローマン優勝者》▼48kg級 森脇由晃(和歌山・和歌山県教育庁)、▼52kg級 宇野勝彦(三重・桑名工高教)、▼57kg級 長内清一(青森・八戸商高教)、▼62kg級 堀井健一(秋田・秋田商高教)、▼68kg級 南敏文(徳島・日体大)、▼74kg級 長友寧雄(宮崎・日南工高教)、▼82kg級 高西一宏(徳島・徳島中央高教)、▼90kg級 堀川和宜(栃木・日大)、▼100kg級 佐藤貞雄(山口・徳山大教)、▼100kg級以上級 松永清志(和歌山・和歌山県体協)

《少年フリースタイル優勝者》▼48kg級 石川真一(秋田・五城目)、▼52kg級 佐藤新(秋田・秋田経法大付)、▼56kg級 桜井和彦(群馬・高崎工)、▼60kg級 栄和人(鹿児島・鹿児島商工)、▼65kg級 上村政和(鹿児島・鹿児島商工)、▼70kg級 西村公夫(青

森・八戸工)、▼75kg級 岸本茂範(北海道・旭川南)、▼81kg級 藤石春男(新潟・巻農)、▼87kg級 曾根哲郎(長野・小諸商)、▼87kg以上級 宮内輝和(栃木・足利工大付)

《少年グレコローマン優勝者》▼48kg級 文田敏郎(鹿児島・鹿児島商工)、▼52kg級 青木昭博(岐阜・各務原)、▼56kg級 藤井徳昭(三重・松阪工)、▼60kg級 松井幹則(三重・松阪工)、▼65kg級 高橋松博(青森・八戸工大一)、▼70kg級 樋口直己(三重・松阪工)、▼75kg級 武藤克浩(秋田・秋田商)、▼81kg級 岩岡正剛(青森・八戸商)、▼87kg級 牧野満章(秋田・五城目)、▼87kg以上級 坂井淳(青森・光星学院)

◇東日本学生グレコローマン選手権(10月29日、東京・青少年総合センター) =決勝

成績

国士舘大○ [5-4] ●日体大

※

◇全日本大学選手権(11月3~4日、兵庫・神戸王子体育館)

《優勝者》▼48kg級 佐々木文和(日体大)、▼52kg級 清水清人(日体大)、▼57kg級 富山英明(日大)、▼62kg級 藤田良穂(中大)、▼68kg級 南正昭(日体大)、▼74kg級 山田真一(国士舘大)、▼84kg級 太田章(早大)、▼90kg級 平山進(日体大)、▼90kg以上級 谷津嘉章(日大)

《大学対抗得点》[1] 日体大(2年連続3度目)、[2] 国士舘大、[3] 日大

◇西日本学生秋季リーグ戦(11月24~26日、大阪・大阪府立体育会館別館)

《順位》[1] 徳山大(初)、[2] 近大、[3] 福岡大、[4] 大体大、[5] 同志社大、[6] 関大

◇東日本学生秋季新人戦(11月27~30日、東京・青少年総合センター)

《フリースタイル優勝者》▼48kg級 橋本伸幸(明大)、▼52kg級 山田信雄(日大)、▼57kg級 田中琢優(日大)、▼62kg級 石沢金也(専大)、▼68kg級 菊地英利(明大)、▼74kg級 野崎由明(日大)、▼82kg級 保坂竹道(国士舘大)、▼90kg級 茅原功(専大)、▼90kg級以上 安藤正哉(日体大)

《グレコローマン優勝者》▼48kg級 勝崎正人(拓大)、▼52kg級 森永哲史(日大)、▼57kg級 手銭利蔵(国士舘大)、▼62kg級 高橋裕樹(法大)、▼68kg級 松林栄(日体大)、▼74kg級 谷一郎(日体大)、▼82kg級 保坂竹道(国士舘大)、▼90kg級 茅原功(専大)、▼90kg級以上 安藤正哉(日体大)